



図書館と本屋さんとアイルランド

船越 素子

ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」の中の1曲でありジャズの名曲でもある「マイ・フェイヴァリット・シングス」にならない、私のお気に入りを三つあげてみた。図書館と本屋さんとアイルランド。図書館と本屋さんには、お互い本という共通のくくりがある。何の問題もない。でもアイルランドという国と図書館や本屋さんとは、どんな関係があるのだろうか。大概の人はそんなふうに思うかもしれない。

でも私には何だかどこかで繋がっているような気がする。それは本を読むこと、逆に本を書くこととすること、あるいはそういう文学のスタート地点のようなことが自然と生活の中に溶け込んでいる状態がアイルランドにはありそうだ、とでもいえないのだろうか。たとえば私達家族が初めてアイルランドの

首都ダブリンに行ったときのこと、(それは今から40年以上前のことなのだが) ラフカディオ・ハーン(の記念館までタクシーに乗った。運転手さんは初老の男性ドライバーで私達が日本人だと分かると、こんなふうに話しかけてくれた。「日本は芭蕉の国だね、俳句は世界で一番短い詩でしょう」)

いまでは俳句を1行詩だと表現する詩人も俳人も少なくはない。だが半世紀も前、日本ではなくアイルランドで「俳句は世界最小の詩」と讃えられるとは思わなかった。

アイルランドが文学に親しいお国柄であることは時間が経つにつれて分かってきた。アイリッシュの友人も「この国ではレストランのウェートレスも文学的ですよ」と教えてくれた。この場合の文学的は話し好きのニュアンスもある。だから外国人に対しても寛容でフレンドリーな国だ。

アイルランドが国をあげて文学好きで、図書館や本さんが生活に馴染んでいることを、数値でも示すことが出来る。アイルランドは人口450万人ほどの小国。大英帝国の植民地として圧制下におかれ、独立できたのは1922年のこと。だがノーベル文学賞受賞者は実は4人もいる。

文学好きがアイルランドの国民性でもあることをあらためて感じさせられたのは、ノーベル文学賞受賞者シエーマス・ヒーニーが2013年に亡くなったときだ。多くの人々が新聞やラジオ等にヒーニーの作品を挙げその死を悼んだ。私の友人一家も家族全員がそ

れぞれヒーニーの作品を選んで哀悼した。私たちの国にはこのような慕われ方をする詩人はいないように思う。

最後に、私たち家族全員にとって大切な友人一家。そのアイリッシュの友人との出会いについてのストーリー。それは現代文学に「意識の流れ」という大きな影響をあたえた作家ジェイムズ・ジョイスの『ユリシーズ』と私たちの友情をめぐるものだ。

その頃の(いや、今も)私にとって『ユリシーズ』は難解すぎて分からなかった。そこで、とても恥ずかしかかったけれど思い切って彼女に質問したところ、「あの本は生粋のアイリッシュでも難しい。知り合いでも読了した人は何人もいない」といつて何故か二人で大笑い。あれから半世紀にもなろうとしているが、私たちの話題は相変わらず文学だ。1冊の本が友情の扉を開けてくれた。

(詩人、弘前ペンクラブ会長)



→首都ダブリンのグラフトン・ストリートにあるカフェ「ビューリーズ」にはジョイスが毎日のように通っていた。



● イベント実施報告 5月～8月 ●



〈全館合同〉8月1日～8月31日

4館スタンプラリー

ご参加いただいた皆様に心より感謝！

弘前市内4つの図書館を楽しみながら知っていただけたらと始めたスタンプラリー。今年で8回目を迎えました。今回の全館制覇プレゼントは、スタンプ作りの豆本です。プレゼントをした方々から「かわいい！」「初めて見た♪」などのお喜びの声をいただき、大変嬉しく思います。今後とも是非、各館へお気軽にお越しください。お待ちしております。

〈弘前図書館〉5月18日

手作り絵本講習会

世界に1冊、自分の絵本が出来ました！

今年も弘前市在住の絵本作家ささやすゆきさんを講師に迎え、手作り絵本講習会を開催しました。参加したご家族は、ストーリーをささ先生に相談したり、色塗りを家族で分担したりと、楽しみながら絵本作りに挑戦していました。

講習会は3時間半の長丁場でしたが、完成した絵本を手にみなさん誇らしげな表情で、充実した時間になったようです。

講習会の様子



〈弘前図書館〉5月25日

弘前図書館製本講座

手帳サイズのメモ帳を作成!!



横山さんの説明をする様子

三沢市立図書館の横山聡子さんを講師にお迎えして、弘前図書館初となる製本講座を開催し、20名の方にご参加いただきました。最初にメモ帳の表紙と見返しを選び、本の仕組みや製本技術の基礎を学んだ後、メモ帳作りを開始しました。みなさんの一生懸命に取り組む姿からは、製本に対する関心の高さが伺えました。

〈弘前図書館〉7月6日

調べる学習特別講座 in 弘前図書館

きっかけは「好き!」や「どうして?」

7月6日、小学生以上を対象に調べる学習コンクールの館内講座を開催しました。テーマの決め方や調べ方、図書館での本の探し方などを学んだ後、自分が決めたテーマについて実際に調べていただきました。みなさん真剣な表情で取り組んでいました。コンクールへの応募も楽しみにしています。



調べる学習講座の様子

〈弘前図書館〉7月13日

弘前ライブラリーシネマ

今年は劇場版「忍たま乱太郎」を上映



映画会の様子

7月13日に子ども向け映画会を開催しました。今年は劇場版アニメーション「忍たま乱太郎 忍術学園全員出動!の段」を上映いたしました。お馴染みの乱太郎、きり丸、しんべエの3人組と忍術学園の仲間たちが、夏休みの宿題が原因で起きた大騒動に立ち向かいます。笑いあり、友情あり、本格的な戦もありのストーリーに、家族連れはもちろん、大人の方にも楽しんでいただけたようです。

〈弘前図書館〉7月20日

夏休みおはなし会

こわーいおはなしでひんやり!

毎年恒例の夏休みおはなし会、今年は「おばけ・妖怪」をテーマに「おはなしボックス」のみなさんが5つのおはなしを聞かせてくれました。当日は29名の方の参加があり、背筋がひんやりするおはなしのほか、大型巻き絵を使った演目では子どもたちも読み手に参加し、元気で賑やかな楽しいおはなし会となりました。



〈弘前図書館〉7月21日
市民講座「なんだカンダの科学実験ショー！」
 科学の不思議を体験！



偏光フィルムの仕組みを説明する神田先生

今年度の弘前図書館市民講座は、南中学校校長の神田昌彦先生を講師にお迎えして開催しました。電気回路や偏光フィルムなど、日常にある様々なものを用いた不思議な科学実験の数々に子どもたちは大興奮。「なんで!?!」という声が随所で上がっていました。

最後には参加者全員で「超能力スプーン」と知恵の輪の工作を行いました。完成した超能力スプーンで真剣にスプーン曲げを習得しようとする参加者の姿が見られ、楽しんでいただけたようです。

〈弘前図書館〉7月31日～8月2日
図書館のお仕事やってみ隊
 図書館のお仕事に挑戦！

7月31日、8月1日、2日の3日間にわたり、小学4年生から6年生を対象に、図書館のお仕事やってみ隊を開催しました。今年は17名の参加がありました。子どもたちは1日図書館スタッフとして、本のコーディネート、カウンターでの接客、書架の整理などに一生懸命取り組みました。また図書館を訪れた



カウンターでの接客

際には、今回経験したお仕事の意外な大変さや楽しさを思い出してもらえたら嬉しいです。

〈岩木図書館〉7月27日
自分だけの万華鏡を作ろう！
 廃品を活用してオリジナル万華鏡を作ろう！

7月27日にお菓子の空き箱やペットボトルなどの廃品を利用して万華鏡を作るイベントを開催しました。あいにくの天気でしたが、10名の元気な小学生が参加してくれました。とても手が届かなくてほとんど作業を進める子や、姉妹で助け合っていて一緒に作るなど、微笑ましい光景も見られました。完成した万華鏡を覗いた子どもたちからは笑顔が溢れ、歓声が上がっていました。



完成した万華鏡を試す子どもたち

〈絵本の森〉6月1日～6月30日
ハッピーボックス
 何が出るかはおたのしみ！

スタッフ手作りのガチャガチャを回して、カプセルの中に入った鍵でロッカーの扉を開けると、新しい本と出合えるハッピーボックス！今回は「どうぶつ」「せいしかつ」「おばけ」「ことば」「おいしい」「スタッフおすすめ」をテーマに6つの扉をご用意しました。今年も大盛況で404名の方にご参加いただきました。

〈絵本の森〉7月19日～8月14日
夏休みおはなしクイズラリー
 気分はまるで宇宙飛行士！

今年のテーマは「宇宙探検」。館内に浮かんだ惑星や星空の中を進み、問題が入った宝箱を探してクイズに挑戦する子どもたちの表情は真剣そのもの。段ボールロケットやUFOに乗ったり、宇宙人を作ろう！のコーナーで製作を楽しんだり、宇宙空間を満喫しよう！です。「夏・空・星」をテーマにした絵本の展示・貸出も併せて行い、こちらも大人気でした。ご参加ありがとうございました。



クイズラリーに挑戦するご家族

〈相馬ライブラリー〉7月18日～9月1日
本のおたのしみくじ2024 in そうま
 どんな本があたるかな？

夏休みの特別企画として好評の「本のおたのしみくじ」を今年も開催しました。くじを引いて本を借りてもらうというイベントで、幼児から大人まで参加していただき、楽しんでもらえたようです。参加者からは「今年も楽しみにしていました」「参加者プレゼントの読書通帳を目当てに来ました」という声が多く、大盛況でした。



おたのしみくじに参加してくれた二人



図書館協力

図書館は1つの館で完結しているわけではありません。近隣の図書館から遠くの図書館まで、日本全国の図書館が互いに協力しながら、地域の利用者サービスを提供しています。

■図書館協力とは

図書館協力とは、複数の図書館が、資料の収集・整理・保存・提供・その他の面で互いに協力し合うことを指します。今の時代、1つの図書館だけでは、地域の利用者には十分なサービスを提供することは残念ながら難しいです。全ての資料を各図書館が保有するのは金銭面でもスペース面でも不可能ですし、インターネット社会の到来により、図書館資料や利用者のニーズの種別は膨大になりました。

あらゆる利用者のニーズに応えられるように、図書館同士協力しあう仕組みがあります。今回はその助け合いの一部をご紹介します。

■主な図書館協力―相互貸借―

相互貸借とは、図書館が自館で所蔵していない資料を利用者から求められた際、決められた方法に従って他の図書館との間で資料の貸し借りをを行うことです。弘前市立図書館に所蔵のない本であっても、このサービスを使うことで他の図書館から本を借りて読むことができます。CD・DVD等の視聴覚資料や雑誌等は受け付

けていない図書館が多いですが、それでも

多くの資料を読む機会が劇的に増える相互貸借は、地域の利用者にとっても大変重要なサービスといえるでしょう。



■主な図書館協力―文献複写―

図書館が利用者の求めに応じて資料の一部を複写して提供することを文献複写と呼びます。自館に所蔵のない資料の複写依頼が来た場合は、その資料を持つている図書館に遠隔複写の依頼をすることが出来ます。遠隔複写の場合、複写にかかる料金だけでなく送料も利用者負担となりますのでご注意ください。遠隔複写を使えば、お近くの地域の図書館に所蔵のない雑誌や新聞の記事を複写したものを手に入れることができます。ただし、何でも全て複写できるわけではありません。著作権法第31条「図書館等における複製」及び第35条で規定されている条件や範囲に従わなくてはなりません。

■主な図書館協力―協力レファレンス―

レファレンスとは、利用者の調査研究を手助けし、質問に対する回答を行うことです。自館では解決できなかったレファレンス質問に対して、他の図書館の力を借りて解決することを協力レファレンスといいます。現在は、全国の図書館におけるレファレンス事例をデータベース化した「レファレンス共同データベース」があり、より協力の幅が広がりました。データベースの似たような事例を検索して調査の参考にしたり、データベースに自館のレファレンスを登録しておくなどの図書館から情報が寄せられたりすることもあります（当館はレファレンス共同データベース事業には参加しておりません）。「レファレンス共同データベース」は一般の方もご覧になることができます。自分が気になる疑問についてデータベースで検索してみると、面白い事例が見つかるかもしれません。

【参考文献】

- ・『図書館学基礎資料 第九版』
今まど子編著 樹村房 2010年
- ・『図書館サービス概論 第2補訂版』
金沢みどり著 学文社 2022年
- ・『図書館概論 第4版』
大串夏身・常世田良著 学文社 2022年
- ・「レファレンス共同データベース」
<https://erd.ndl.go.jp/reference/>

(参照：2024年8月20日)



弘前市立図書館でリクエスト（購入・相互貸借）や文献複写を依頼する

予約(リクエスト)カード

◎予約(リクエスト)は1人も購までできます。(上・下巻は2冊となります)
 ◎リクエスト(相互貸借を含む)ただし青森県立図書館からの相互貸借は除く
 ◎年間(4月1日~3月31日)12冊まで、購入の場合、1冊3,000円(税別)以内。
 ◎資料の受取は2週間以内(相互貸借は1週間以内)にお願ひします。
 届出までに手続きしない場合は、予約を削除します。
 ◎貸出できるまでに期間がかかる場合もあります。
 特別な事情により、お急ぎになる場合は職員にご相談ください。

1	希望 貸出館	<input type="checkbox"/> 弘前 <input type="checkbox"/> 岩手 <input type="checkbox"/> 岩手 <input type="checkbox"/> 岩手	申込日 令和 年 月 日
フリガナ	氏名	利用 者 番 号	
区 分	<input type="checkbox"/> 電 話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 携帯 <input type="checkbox"/> 勤務先	
連絡 方法	※登録済の番号	希望時間帯 <input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 <input type="checkbox"/> 夕方	
	<input type="checkbox"/> メール	伝 言 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 留守電へ	
	※電話番号の確認・追加登録・変更はカウンターでお願いします。 ※相互貸借での手配となる場合は電話連絡へ切替させていただきます。	・事前にメールアドレスの登録が必要です。 ・カウンターで仮パスワードを発行します。	
書 名	(1冊につき1枚ご記入ください)		
著者名	発行所		
背ラベル(予約の場合)	価 格(リクエストの場合)		

検索	1 所 蔵	弘前(児童室・書庫)・BM(赤・書庫)・岩手・前ウ・こ絵
2 未所蔵	図書番号()	
3 予約	1 返却時 2 予約受取時	
リク エス ト	1 購 入	1 発 注 (/) 受入月日 (/)
2 相 互 貸 借	2 購入不可 絶版・廃版・発行所不明・その他 (/) (図書館)	
受 付 担	<input type="checkbox"/> 弘 <input type="checkbox"/> 岩 <input type="checkbox"/> 相 <input type="checkbox"/> こ <input type="checkbox"/> 移	No. <input type="checkbox"/> 解除 <input type="checkbox"/> 貸出 (/)

リクエスト（購入・相互貸借） - 弘前市立図書館にない本を探す

対象：弘前市に在住・在学・在勤している方

(それ以外の方はお住いの自治体の図書館等にご相談ください)

方法：「予約(リクエスト)カード」に必要事項をご記入いただき、カウンターにお出してください。用紙はカウンター前の記載台にあります。

【必要事項】

- ・名前 ・利用者番号 ・受取希望館 ・連絡方法
- ・書名 ・著者名 ・発行所 ・価格

※書名や著者名等は分かる範囲で正確にご記入ください。

〈相互貸借となった場合の注意〉

- ・受取館をこちらから指定する場合があります。
- ・連絡方法は、取り置き期限を厳守していただくため「電話」のみとさせていただきます。
- ・取り置き期間は連絡が届いてから1週間です。
- ・借りる図書館の都合等様々な理由により、かなり時間がかかる場合があります。
- ・資料によっては提供することができない場合もあります。

文献複写申込書

◎太枠内だけご記入ください。
 ◎複写にかかる費用はすべて個人負担です。(複写料金、送料など)
 ◎支払方法については、後日連絡いたします。

申込日	令和 年 月 日
フリガナ	利用者番号
氏名	
電話番号	自 宅 携 帯
連絡希望時間帯	<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 <input type="checkbox"/> 夕方
誌名	
発行年	巻 号 ページ
著者名	
論 題	
備 考	

依頼日	
連絡月日	① 年 月 日
	② 年 月 日
備考	連絡不能 (/) (/) (/)
受付	担当 No.

文献複写（遠隔複写）を申込する

対象：弘前市立図書館のカードを持っている方

方法：「文献複写申込書」に必要事項をご記入いただき、カウンターにお出してください。用紙はカウンターにございますので、申込の際はカウンターまでお申し出ください。

【必要事項】

- ・名前 ・利用者番号 ・連絡先の電話番号
- ・誌名 ・著者名 ・論題 ・発行年 ・巻号
- ・ページ番号

※誌名・著者名等は分かる範囲で正確にご記入ください。

〈文献複写を依頼する際の注意〉

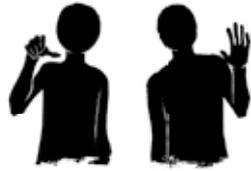
遠隔複写には複写料金や送料等がかかります。支払方法については、依頼した図書館の指示に従ってください。当館では集金いたしません。





BOOK REVIEW この本がおもしろい!

『盛り塩のある家』
福澤徹三／著
メディアファクトリー
2012年刊



至る所に塩が山状に盛ってある白い小皿がある家：表題作「盛り塩のある家」、ある怪談実話本にまつわる恐ろしい話：「あんたが呼んだ」。全51話が収められています。いつもと変わらぬ日常のふとした瞬間、またはその延長線上にぽかりと口を開けている恐怖を堪能できる怪談実話集です。：不思議だ、説明がつかない、わけがわからない等々自分の理解の範疇を超えたところに恐怖はあるのだとしてみじみ思う一冊です。

『にっぽんの花地図
神社・お寺の花と桜の絶景』
はなまっぷ／著
KADOKAWA
2024年刊



日本の神社・お寺の花と桜の絶景を楽しめる名所を、写真愛好家たちの写真で紹介しています。最近では『花手水（はなちよず）』とあって、神社やお寺で参拝する前に手や身を清める手水舎（ちよずばち）にある手水鉢（ちよずばち）に、その季節の花を浮かべているところがあります。神社やお寺の境内を彩る四季折々の花や花手水が紹介されており、目にも楽しい一冊です。お出かけの参考にしてみてもいいかもしれませんね。

『看板ボーイズ』
菊池百恵／著、モノガタリラボ／編
イマジカインフォス
主婦の友社（発売）
2024年刊



物語は、真面目な公務員の誠と、銀髪でチャラい謎の青年ワタルがひよんなことから、誠の祖父が経営していた神保町の喫茶店兼自宅でルームシェアをすることから始まります。偶然、押し入れで見つけた誠の父のメモをもとに、日本各地の看板建築を巡って旅をしていくのですが、凸凹コンビに旅先で様々な事が起こります。現役で営業している実在の看板建築も出てきて、昭和レトロな懐かしい香りが漂うノスタルジーを感じる本です。

『妖怪と魔法おりがみ
おりがみで冒険しよう!』
笹川勇／著
主婦の友社
2023年刊



「邪悪な切り株」「地獄のドラゴン」「ささやく悪魔」…いかにも怖そう!ここはおりがみの魔界。妖怪と魔法のおりがみがたくさん登場します。折れば折るほど楽しいおりがみの冒険が始まります!魔界の住人に変装できる小物、決闘に使う武器、魔法の修行の道具など、不思議なおりがみでいっぱい。お勧めは「しのびよる手」。手だけの魔物がガサガサと動きだします。キヤー!
お子さんやお孫さんと盛り上げられそうですね。

『ピンヒールで車椅子を押す』
畠山織恵／著
すばる舎
2023年刊



厳しい家庭で育ち、自分自身に全く自信がもてない少女だった著者。両親から自由になるために19歳で妊娠・結婚を決意します。そうして生まれた長男が脳性麻痺でした。障害のある息子と、なりたい自分になるためのチャレンジを繰り返す、親子の成長記録です。障害があってもなくても、どんな困難があってもなくても、世界にたった一人の自分を認めてあきらめないことの大切さが描かれ、軽やかで率直な文章が心に響きます。

『美しい本屋さんの間取り』
エクスナレッジ
2022年刊



この本には日本の小さな本屋さんの間取りが沢山載っています。それだけでも本好き・間取り好きはワクワクしてしまうわけですが、本書はそれだけでは終わりません。その数々の本屋をリサーチして得た、本屋を開業するための沢山のノウハウが詰め込まれているのです。店内の導線、ディスプレイの工夫、SNSまで、知っておきたい知識が盛り沢山。本屋の開業を考えている方はもちろん、本が好きな人も読みごたえのある一冊です。



弘前市立図書館公式 X (旧 Twitter) が パワーアップしました!

ときどきバズります

図書館での日常やおすすめ本の紹介の他、最近では「スタッフ挑戦シリーズ」や「弘図クイズ」などの企画にも力を入れています。また、蔵書点検期間中は、普段見ることのできない図書館の様子を発信し、嬉しいコメントをいただき、励みになりました!

毎日投稿を目指して頑張っており、500ポストを達成した際の投稿はたくさんの「いいね」をいただき、これがバズるといふことか…と喜びを噛みしめております。

これからも図書館を、より身近な存在に感じてもらえるよう、投稿をしていきたいと思っていますのでぜひチェックしていただければと思います!フォローお待ちしております!

→500ポスト達成時に
投稿した写真。



このQRコードから
アクセスできるよ!
ぜひフォローしてね!



図書館ボランティア紹介

人形劇団つがる

野呂 忠久さん

—所属団体、活動日(回数)などについて

会員は10名程。図書館でのおはなし会年5回程度のほか県民文化祭、市民文化祭での人形劇公演、春の人形供養祭(貞昌寺)へも参加しています。

—活動のおもしろさや楽しさ、やりがい

演じる側の思いは人それぞれ。ご覧になっている子どもさん、親御さん、おじいちゃん、おばあちゃん感じ方も人それぞれです。それでも、一つの演目を通し、ともに楽しく演じられて、ご覧になった方の「楽しかった!」という一言を聞くと、みんな気持ちを通じ合ったような、そんな幸せな気分になります。

—おすすめの本を1冊教えてください

『できるかな?あたまからつまさきまで』

エリック・カール作 くどうなおこ訳 偕成社 1997年

絵本には、いろいろな動物たちの特徴的な動きが描かれています。もちろん絵本を読むだけでも楽しめますが、これを絵本うたに合わせ、絵本と同じようにみんなで踊ると楽しさ倍増間違いなしです。ただし、飛び跳ねても大丈夫な場所で行ってくださいね。



—読者の方へメッセージ

団体設立から50余年。これまでもたくさんの笑顔にお会いしました。これからもすてきな笑顔にお会いできることを楽しみにしています。



お知らせ・図書館イベント等の情報 9～11月

※都合により、変更になる場合がございます。

開催館・日時	イベント名	内容等
弘前図書館 9月8日(日) 13時30分～15時	大人のための図書館見学	【対象】18歳以上の方 【定員】20名(先着順) 【申込】8月19日(月)9時30分から 弘前図書館のカウンターまたは電話で受付。 ※定員に達している場合はご了承ください。
弘前図書館 9月14日(土) 10時～12時	第41回 おはなしと読み聞かせ講習会	【対象】読み聞かせに興味のある中学生以上の方。 興味はあるけどやり方が分からない、自分のやり方に自信がないという方もぜひ。 【講師】JPIC読書アドバイザー 高嶋敬子さん 【定員】20名(先着順) 【持ち物】絵本1冊(図書館の本でも可)・筆記用具 【申込】8月16日(金)9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付 ※定員に達している場合はご了承ください。
弘前図書館 9月21日(土) 10時30分～12時	弘前図書館作家講演会 「心のゆれを絵本にして」	【対象】小学5年生以上の方 【講師】絵本作家 かさいまりさん 【定員】40名(先着順) 【申込】8月16日(金)9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付 ※定員に達している場合はご了承ください。
弘前図書館 10月5日(土) 13時～16時	バリアフリー映画会	【上映作品】「沈黙のパレード」 【定員】40名(先着順) 【申込】9月9日(月)9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 10月12日(土) 13時30分～14時35分 (5分休憩あり)	第7回 小学生に贈るおはなし	【対象】小学生、幼児、おはなしに興味のある方 【定員】30名(先着順) 【語り手】読み聞かせボランティア 【申込】9月7日(土)9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 東北電力側玄関前 10月13日(日) 13時30分～16時	移動図書館車はとぶえ号 1日開放	【申込】どなたでも(申込不要) 【内容】図書館玄関前に駐車。車内の見学など
弘前図書館 10月26日(土) 9時30分～13時頃まで ※午前9時より東北電力側玄関前で整理券を配布	雑誌の無料配布	【対象】どなたでも(申込不要・先着順) 【内容】保存期間を過ぎた雑誌のバックナンバーを無料提供。お一人様7冊まで(同雑誌は3冊まで)雑誌の付録は2点まで。 ※持ち帰り用の袋はご持参ください。
弘前図書館 10月18日(金)～11月20日(水)	秋の読書週間	【内容】0～5歳の年齢別絵本「いくつのえほん」のコーナーを設け、展示・貸出をします。
岩木図書館 10月20日(日)～11月17日(日)	秋の読書週間	【対象】どなたでも(申込不要) 【内容】果物カードにおすすめの本について記入していただき、展示・貸出をします。
こども絵本の森 10月1日(火)～11月9日(土)	秋の読書週間	【対象】どなたでも(申込不要)
相馬ライブラリー 11月28日(木)～12月3日(火)	相馬地区文化祭特別企画 ライブラリーで謎解きゲーム	【対象】どなたでも(申込不要)

弘前図書館

開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎月第3木曜日
※その日が祝日の場合はその翌日
年末年始
蔵書点検期間
電話 32-3794

岩木図書館

開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎週月曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 82-1651

いづみ絵本の森

開館時間
10:00～18:00
休館日…毎月第3木曜日
※その日が祝日の場合はその翌日
蔵書点検期間
電話 35-0155

相馬ライブラリー

開館時間
9:30～17:00
休館日…毎週水曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 84-2316

発行：指定管理者 TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体

